

《大規模プロジェクトなどの全体計画》

- 平成 26 年度から実施する事業のうち、複数年度にわたり大きな財政負担を伴う以下の事業について、事業評価の一環として、目標や後年度の財政負担など、その全体計画の概要を公表します。

環状七号線地下広域調節池（仮称）の整備

◇ 目 標

神田川、石神井川及び白子川流域で、「調節池」を連結して、時間最大雨量 75mm に対応する「広域調節池」を整備し、洪水の一部を流入させて貯留する「調節池」の機能を流域間で相互に融通して活用することにより、近年頻発する集中豪雨による水害の軽減を図ります。

◇ スケジュール

平成 26 年度に基本設計を行い、河川整備計画改定や都市計画決定などの手続きを進めながら早期の工事着手、37 年度の整備完了を目指します。

◇ 総事業費

740 億円（26 年度予算額 1.8 億円）

石神井川中流調節池（仮称）の整備

◇ 目 標

時間最大雨量 75mm に対応する「調節池」を整備し、洪水の一部を流入させて貯留することで、近年頻発する集中豪雨による水害の軽減を図ります。

◇ スケジュール

平成 26 年度に基本設計を行い、河川整備計画改定などの手続きを進めながら早期の工事着手、36 年度の整備完了を目指します。

◇ 総事業費

140 億円（26 年度予算額 0.9 億円）

境川中流調節池（仮称）の整備

◇ 目 標

時間最大雨量 65mm に対応する「調節池」を整備し、洪水の一部を流入させて貯留することで、近年頻発する集中豪雨による水害の軽減を図ります。

◇ スケジュール

平成 26 年度に基本設計を行い、河川整備計画策定などの手続きを進めながら早期の工事着手、36 年度の整備完了を目指します。

◇ 総事業費

150 億円（26 年度予算額 0.9 億円）

※ 総事業費などは、いずれも現時点での見込みです。